

青森県経済統計報告

令和 3 年 7 月 8 日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（令和 3 年 6 月 1 日現在）…………… 1

県 人 口 1,217,512 人（対前月 1,271 人減少）

自然動態 1,010 人減少（出生者数 540 人、死亡者数 1,550 人）
社会動態 261 人減少（転入者数 884 人、転出者数 1,145 人）

※県人口は平成 27 年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 平成 28 年 10 月 26 日）
を基礎に推計したもの。

2 本県の経済動向（令和 3 年 4 月・5 月の経済指標を中心として）

（1）経済概況

本県経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から厳しい状況が続いているもの
の、持ち直しの動きがみられる。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向 ・令和 3 年 4 月の**青森県鉱工業生産指数**（平成 27 年＝100）は、季節調整済
指数が 101.6 で、前月比 8.4%の低下となり、2 カ月ぶりで前月を下回った。
また、原指数は 103.7 で、前年同月比 2.0%の上昇となり、2 カ月連
続で前年同月を上回った。 … 2
- (2-2) 雇用労働 ・令和 3 年 4 月の**定期給与**は 221,894 円で前年同月と同水準となった。**総
実労働時間**は 151.8 時間で前年同月比 1.9%増、**所定外労働時間**は 9.0 時
間で前年同月比 1.0%減となった。 … 3
・令和 3 年 5 月の**有効求人倍率**（季節調整値）は 1.01 倍で、前月と同水
準となり、2 カ月連続で 1 倍を上回った。
- (2-3) 物 価 令和 3 年 5 月の**青森市消費者物価指数**（平成 27 年＝100）は、総合指数が … 5
102.4 となり、前月比 2.5%の上昇、前年同月比 2.8%の上昇となった。また、
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 102.3 となり、前月比 2.6%
の上昇、前年同月比 2.4%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 ・令和 3 年 5 月の**百貨店・スーパー販売額**は、148 億円で全店舗ベースが … 6
前年同月比 4.0%増となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。また、既
存店ベースでは前年同月比 3.2%増となり、3 カ月連続で前年同月を上回
った。
・令和 3 年 5 月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 2,900 台
で、前年同月比 39.9%増となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。
・令和 3 年 5 月の主な観光施設の**観光入込客数**は、48 万 4 千人で前年同
月比 95.6%増となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。また、主な宿泊
施設の**宿泊者数**は、11 万 1 千人で前年同月比 144.7%増となり、3 カ月連
続で前年同月を上回った。
- (2-5) 建 設 ・令和 3 年 5 月の**新設住宅着工戸数**は 456 戸で、前年同月比 5.8%減とな … 8
り、2 カ月ぶりに前年同月を下回った。
・令和 3 年 5 月の**公共工事請負金額**は 150 億 2,100 万円で前年同月比
29.1%増となり、3 カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-6) 企業倒産 令和 3 年 5 月の**企業倒産**は、件数は 1 件で前年同月比 50.0%減となった。 … 8
負債総額は 5,000 万円で前年同月比 96.9%減となった。

（3）景気動向指数 C I（令和 3 年 4 月分）…………… 9

先行指数 135.8（前月を 5.1 ポイント上回り、3 カ月連続で上昇した）
一致指数 81.5（前月を 6.4 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した）
遅行指数 89.6（前月を 13.1 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した）

1 青森県の推計人口（令和3年6月1日現在）

【概 況】

令和3年6月1日現在の本県推計人口は、1,217,512人で、前月に比べ1,271人の減少となった。

○自然動態

出生者数が540人、死亡者数が1,550人で、1,010人の減少となった。

○社会動態

転入者数が884人、転出者数が1,145人で、261人の減少となった。

総人口の推移

（単位：人）

	総数	男	女	対前月 増減率	増減数	自然 増減数	出生者数	死亡者数	社会 増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
昭 45.10. 1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10. 1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10. 1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10. 1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10. 1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10. 1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10. 1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10. 1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10. 1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10. 1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
令2. 6. 1	1,233,585	579,411	654,174	-0.065%	-808	-819	563	1,382	11	915	904
令2. 7. 1	1,232,681	578,939	653,742	-0.073%	-904	-790	631	1,421	-114	1,027	1,141
令2. 8. 1	1,232,064	578,750	653,314	-0.050%	-617	-729	626	1,355	112	1,506	1,394
令2. 9. 1	1,231,561	578,640	652,921	-0.041%	-503	-794	591	1,385	291	1,478	1,187
令2. 10. 1	1,230,715	578,175	652,540	-0.069%	-846	-862	547	1,409	16	1,292	1,276
令2. 11. 1	1,229,854	577,808	652,046	-0.070%	-861	-939	587	1,526	78	1,258	1,180
令2. 12. 1	1,228,730	577,273	651,457	-0.091%	-1,124	-1,057	536	1,593	-67	926	993
令3. 1. 1	1,227,653	576,763	650,890	-0.088%	-1,077	-1,054	513	1,567	-23	1,008	1,031
令3. 2. 1	1,226,343	576,092	650,251	-0.107%	-1,310	-1,294	487	1,781	-16	1,027	1,043
令3. 3. 1	1,225,034	575,390	649,644	-0.107%	-1,309	-1,084	453	1,537	-225	1,023	1,248
令3. 4. 1	1,219,435	572,505	646,930	-0.457%	-5,599	-1,080	584	1,664	-4,519	3,583	8,102
令3. 5. 1	1,218,783	572,324	646,459	-0.053%	-652	-928	604	1,532	276	2,861	2,585
令3. 6. 1	1,217,512	571,697	645,815	-0.104%	-1,271	-1,010	540	1,550	-261	884	1,145

5月中の人口動態の推移

（単位：人）

年月	H23.5	24.5	25.5	26.5	27.5	28.5	29.5	30.5	R元.5	2.5	3.5
自然動態	出生者数	879	832	794	775	707	707	738	717	635	540
	死亡者数	1,407	1,506	1,428	1,327	1,368	1,438	1,490	1,528	1,640	1,550
	自然増減数	-528	-674	-634	-552	-661	-731	-752	-811	-1,005	-1,010
社会動態	県外からの 転入者数	2,224	1,488	1,330	1,252	1,222	1,254	1,366	1,369	1,360	915
	県外への 転出者数	2,078	1,522	1,559	1,512	1,311	1,422	1,289	1,413	1,428	904
	社会増減数	146	-34	-229	-260	-89	-168	77	-44	-68	11
増減数計		-382	-708	-863	-812	-750	-899	-675	-855	-1,073	-808
											-1,271

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成27年11月1日以降の人口は、平成27年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 平成28年10月26日）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

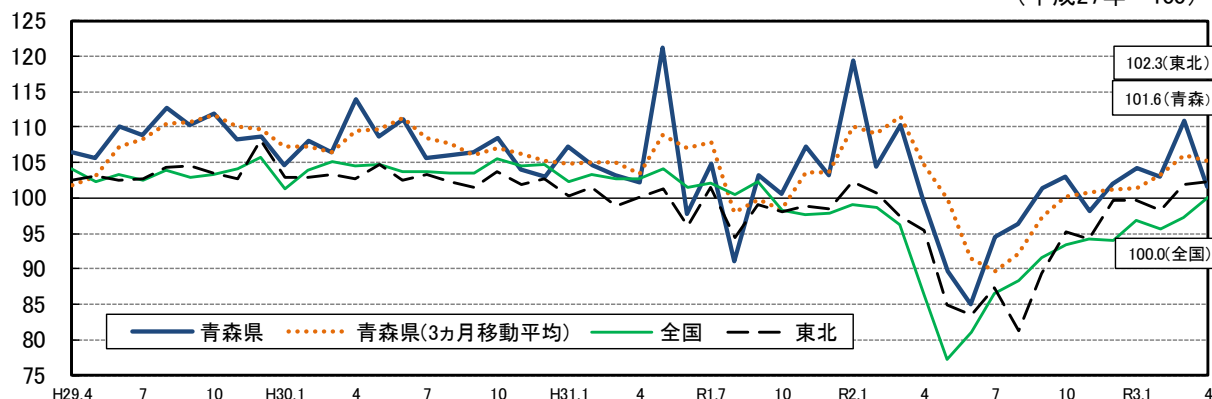
(2-1) 生産動向

令和3年4月の青森県鉱工業生産指数（平成27年＝100）は、季節調整済指数が101.6で、前月比8.4%の低下となり、2か月ぶりで前月を下回った。また、原指数は103.7で、前年同月比2.0%の上昇となり、2か月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、食料品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、窯業・土石製品工業等が上昇に寄与した一方、化学工業、生産用機械工業、金属製品工業等が低下し、鉱工業全体では8.4%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）

（平成27年＝100）



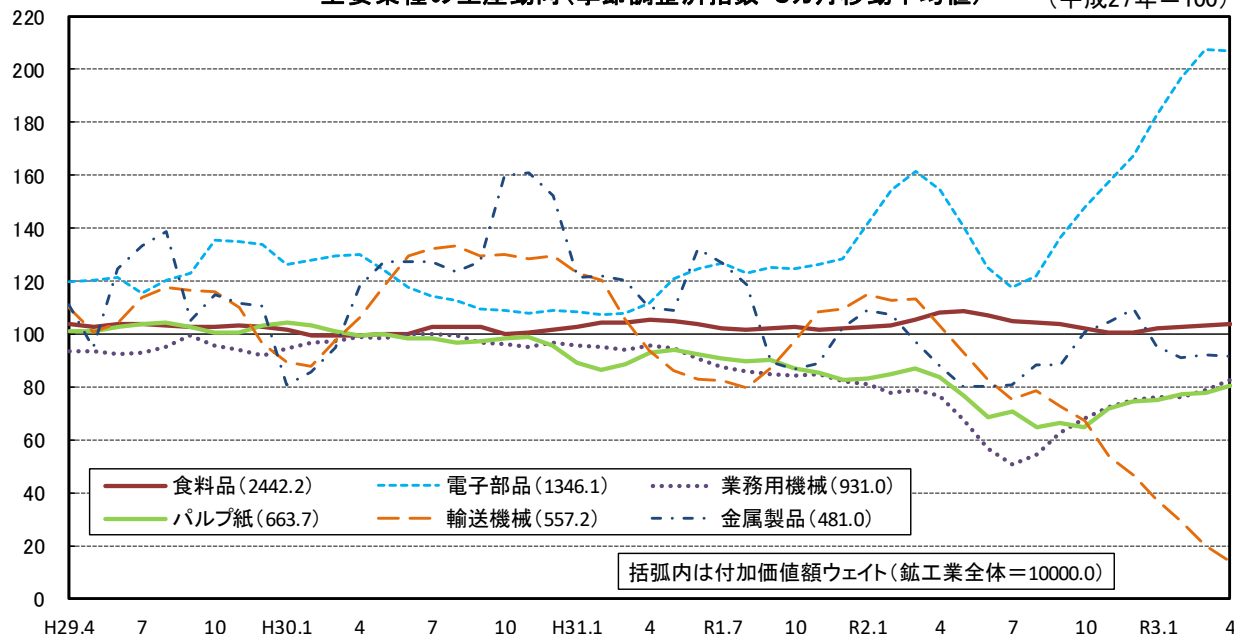
◎業種別動向（前月比） 鉱工業全体 -8.4%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
食料品工業	3.2	6.1	化学工業	-57.5	-39.7
パルプ・紙・紙加工品工業	5.9	2.4	生産用機械工業	-57.1	-26.5
窯業・土石製品工業	9.0	2.2	金属製品工業	-38.8	-15.4
業務用機械工業	1.4	0.8	電気機械工業	-25.7	-12.8
その他製品工業	14.2	0.7	電子部品・デバイス工業	-4.4	-9.3

※寄与率とは、総合指数の上昇（低下）に対する、業種ごとの影響度を構成比で示したものであり、ポイント差とウェイトとの総合的な大きさで決まる。

主要業種の生産動向（季節調整済指数・3カ月移動平均値）

（平成27年＝100）



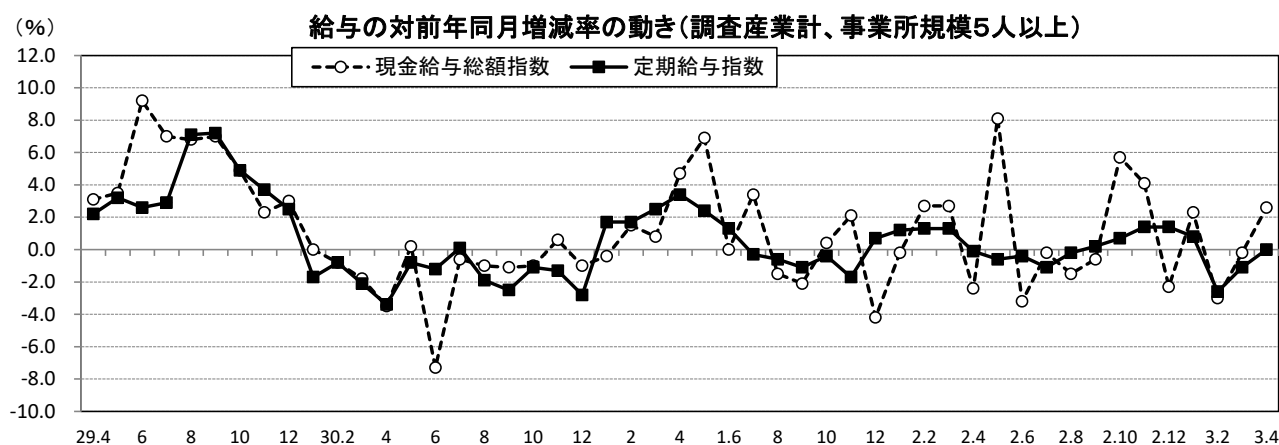
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数（速報）」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

令和3年4月の定期給与は221,894円で、定期給与指数（平成27年＝100）では102.7となり、前年同月と同水準（現金給与総額230,103円、現金給与総額指数91.8、前年同月比2.6%増）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は83.0となった。

総実労働時間は151.8時間で、総実労働時間指数は98.2となり、前年同月比1.9%増と2カ月連続の増となった。このうち、所定外労働時間は9.0時間で、所定外労働時間指数は78.3となり、前年同月比1.0%減と3カ月連続の減となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果（速報）」

給与及び労働時間の全国との比較（調査産業計、事業所規模5人以上）

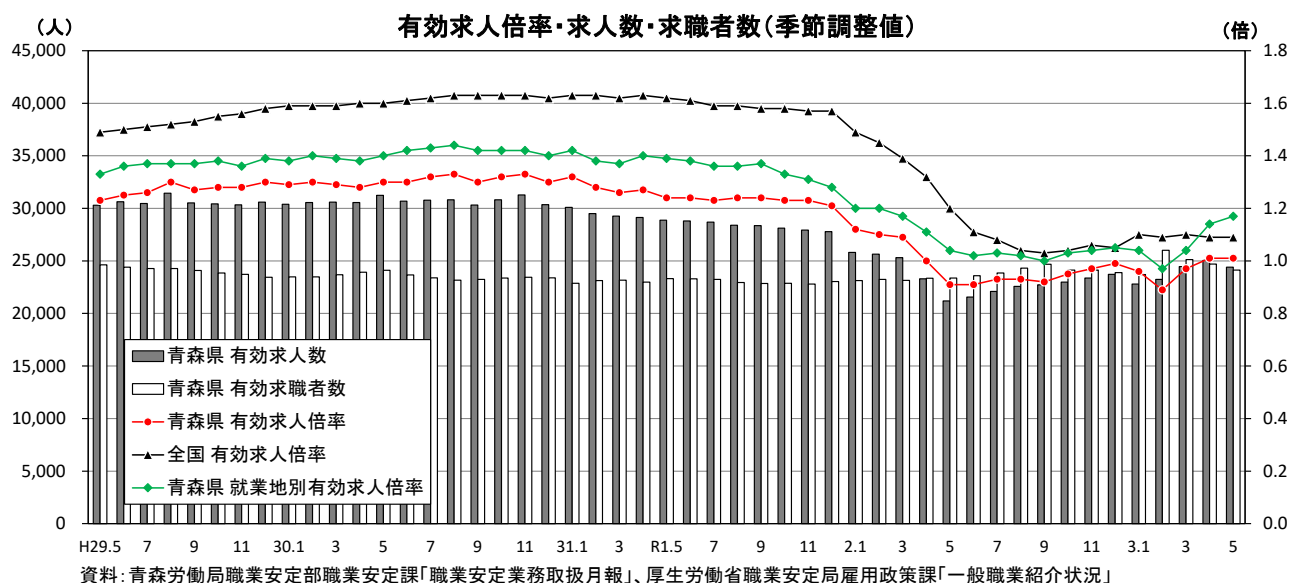
	実 数		指数 (H27=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	230,103 円	278,680 円	91.8	88.3	2.6 %	1.4 %
定期給与	221,894 円	267,365 円	102.7	102.6	0.0 %	1.2 %
特別給与	8,209 円	11,315 円	—	—	—	8.7 %
総実労働時間	151.8 時間	143.4 時間	98.2	99.3	1.9 %	4.1 %
所定内労働時間	142.8 時間	133.3 時間	99.8	99.9	2.0 %	3.5 %
所定外労働時間	9.0 時間	10.1 時間	78.3	91.8	-1.0 %	12.2 %

- (注) 1. 「定期給与」とは、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、超過労働給与（所定の労働時間をこえる労働、休日労働、深夜労働に対して支給される給与）を含みます。
2. 「特別給与」とは、給与の差額追給額（ベースアップ分）、3か月をこえる期間単位で支給される住宅手当や通勤手当、賞与（ボーナス）等のことです。
3. 「所定内労働時間」とは、正規の始業時刻と終業時刻との間から休憩時間を差し引いた労働時間のことです。
4. 「所定外労働時間」とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間のことです。
5. 全国の数値については、平成30年11月確報から、平成24年以降において東京都の「500人以上規模の事業所」についても再集計した値（再集計値）に変更しており、従来の公表値とは接続しないことにご注意ください。また令和元年6月分速報から「500人以上規模の事業所」について全数調査による値に変更していることにご注意ください。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果（速報）」

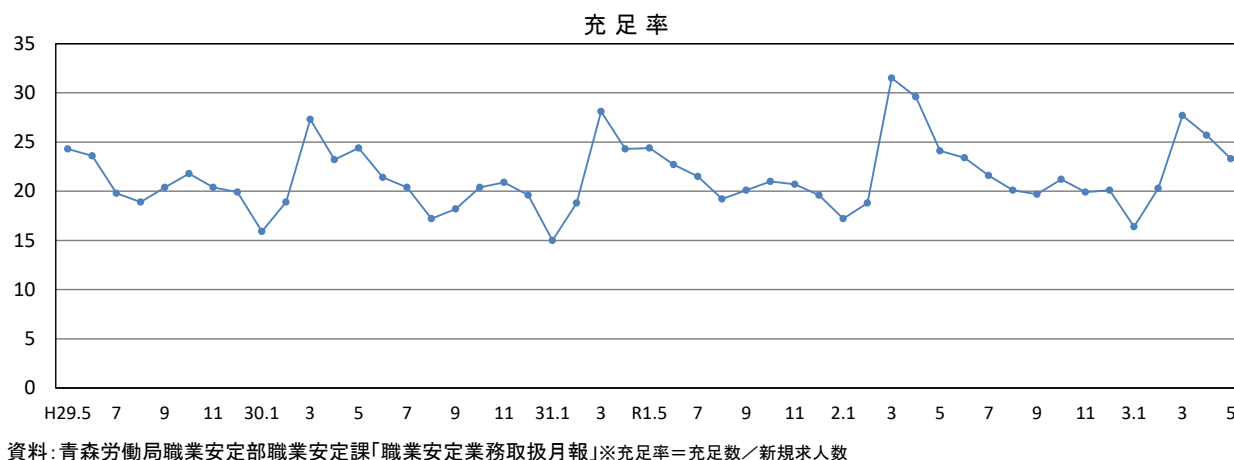
(2-2-2) 有効求人倍率

令和3年5月の有効求人倍率（季節調整値）は1.01倍で、前月と同水準となり、2カ月連続で1倍を上回った。就業地別有効求人倍率は1.17倍で、前月を0.03ポイント上回った。



(参考) 充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

令和3年5月の充足率は23.3%で、前年同月を0.8ポイント下回った。



(2-3) 物価

令和3年5月の青森市消費者物価指数(平成27年=100)は、総合指数が102.4となり、前月と比べ2.5%の上昇、前年同月と比べ2.8%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.6となり、前月と比べ2.5%の上昇、前年同月と比べ3.2%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.3となり、前月と比べ2.6%の上昇、前年同月と比べ2.4%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ2.5%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、教養娯楽などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ2.8%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、住居などの上昇が要因となっている。

※各指数の上昇については、青森市において、新型コロナウイルスに係る経済支援策として実施された上下水道料の全額免除(令和2年5月検針分、令和3年4月検針分)による、指数の大幅な下落があった影響が大きい。

図1 総合指数の動き

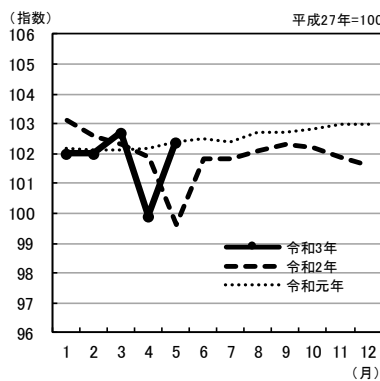


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

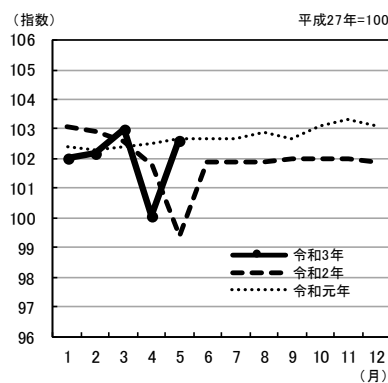
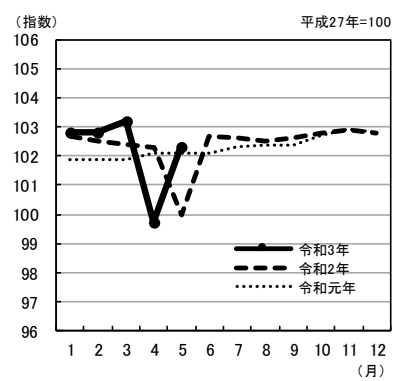


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成27年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服・履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	雑費
当月指数	102.4	102.6	102.3	100.8	105.6	99.1	102.4	102.8	107.3	104.7	101.9	95.0	95.4	104.5	99.7
前月比(%)	2.5	2.5	2.6	3.8	0.1	3.1	▲0.5	27.6	▲0.1	▲0.3	0.2	0.3	0.0	1.0	0.3
寄与度	—	2.37	2.20	2.32	0.03	0.14	▲0.12	2.47	▲0.01	▲0.01	0.01	0.04	0.00	0.09	0.02
前年同月比(%)	2.8	3.2	2.4	3.4	▲1.0	▲4.1	1.0	31.3	3.0	▲0.8	▲0.5	▲0.4	0.2	0.2	2.3
寄与度	—	3.03	1.98	2.08	▲0.30	▲0.20	0.20	2.73	0.13	▲0.03	▲0.02	▲0.05	0.00	0.02	0.13

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

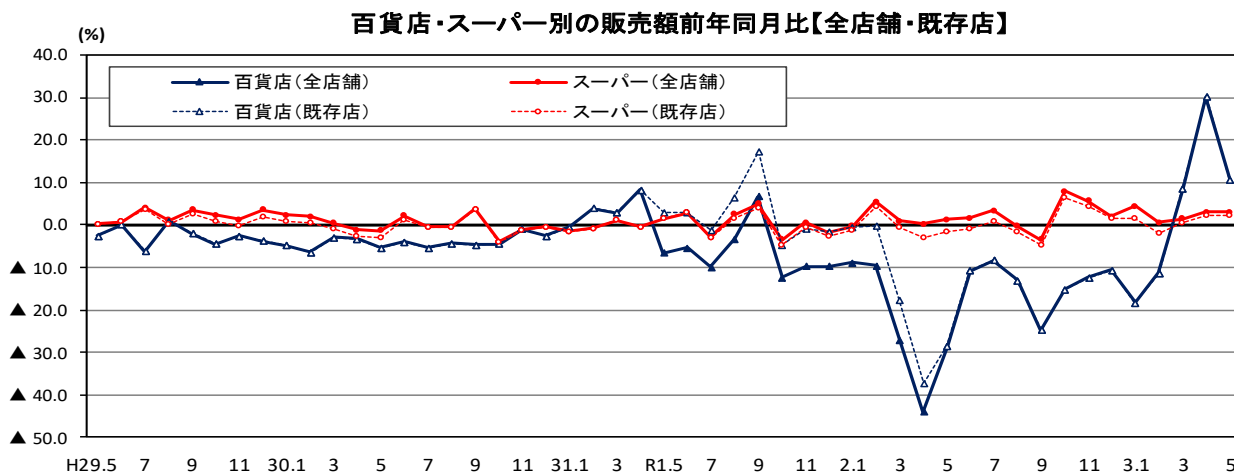
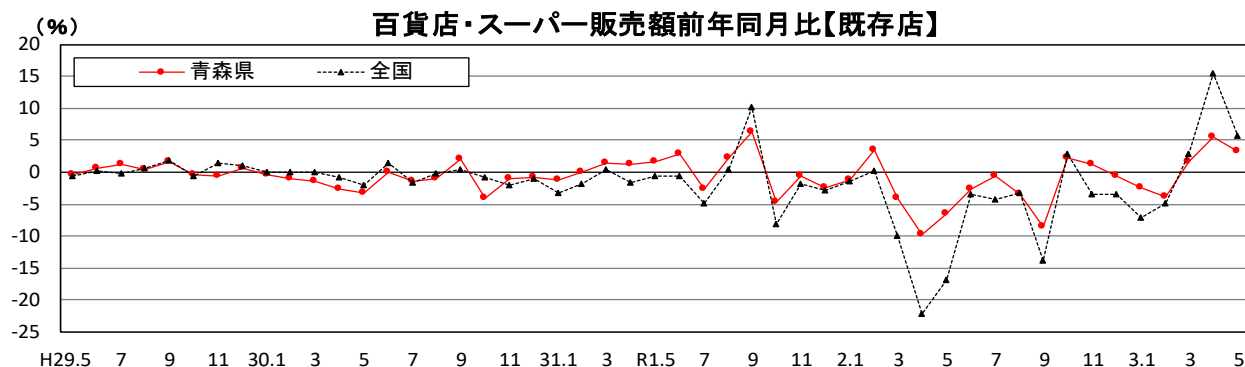
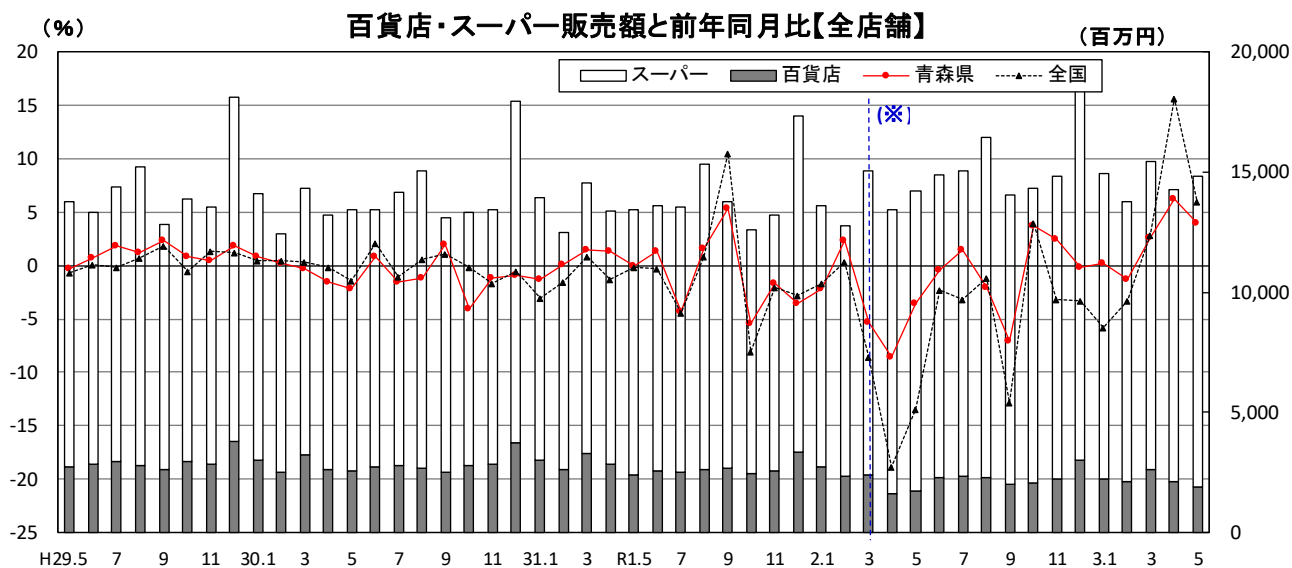
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

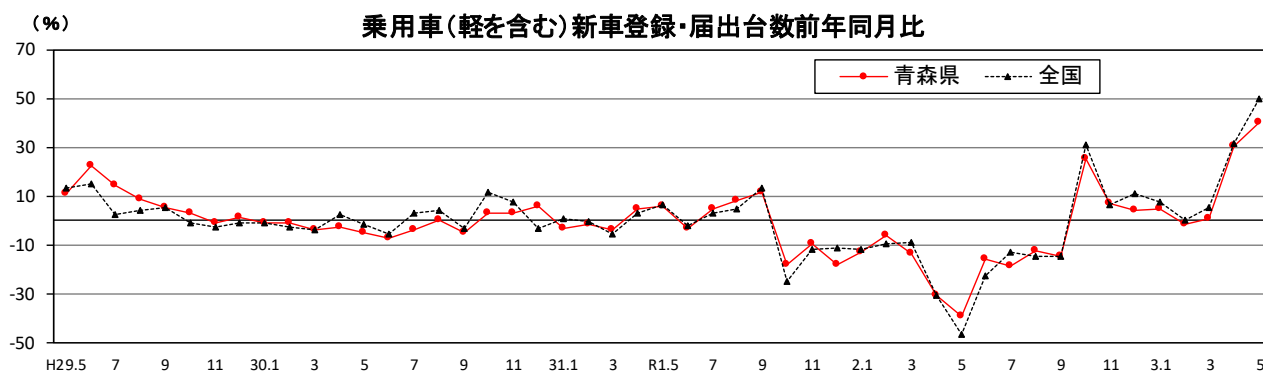
(2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

令和3年5月の百貨店・スーパー販売額は、148億円で全店舗ベースが前年同月比4.0%増(前々年同月比0.4%増)となり、3カ月連続で前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比3.2%増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。



(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

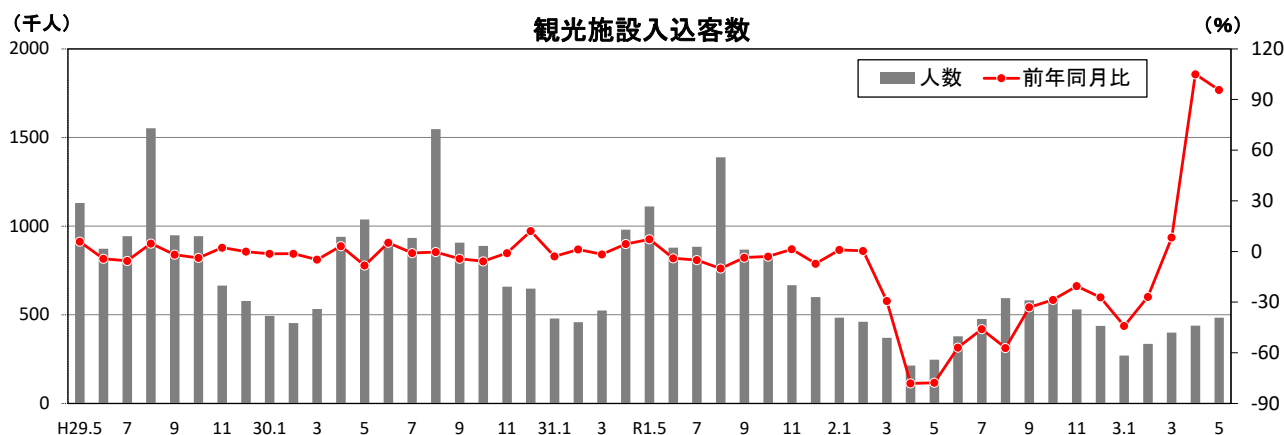
令和3年5月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,900台で、普通車と軽乗用車が増加したことにより、前年同月比39.9%増(前々年同月比15.1%減)となり、3カ月連続で前年同月を上回った。



資料: 日本自動車販売協会連合会青森県支部「自動車登録状況 新車月報」、同連合会「自動車統計データ」

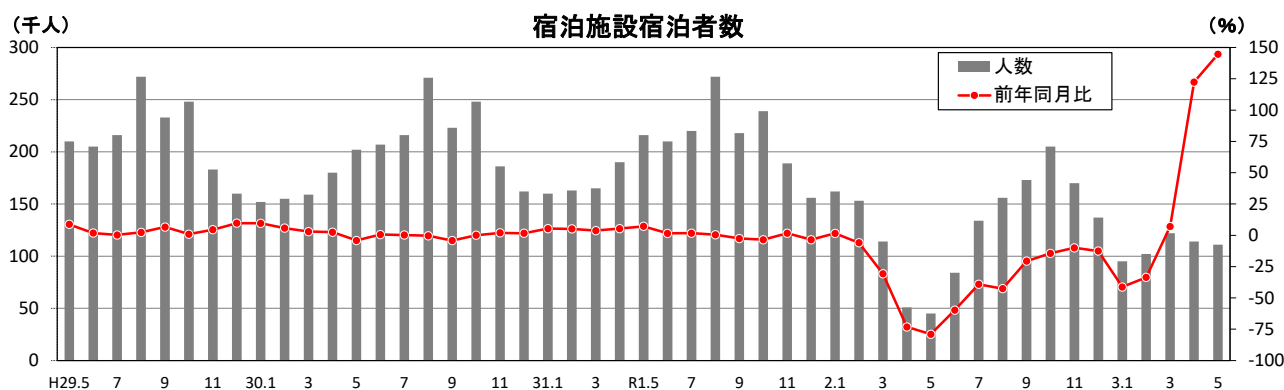
(2-4-3) 観光入込客数・宿泊者数

令和3年5月の主な観光施設の観光入込客数は、48万4千人で前年同月比95.6%増(前々年同月比56.4%減)となり、3カ月連続で前年同月を上回った。また、主な宿泊施設の宿泊者数は、11万1千人で前年同月比144.7%増(前々年同月比48.6%減)となり、3カ月連続で前年同月を上回ったものの、いずれも前々年同月を下回っており、そのマイナス幅は再び拡大している。



資料: 県観光企画課「月例観光統計」

※観光施設35施設(H24年1月～H26年3月は35施設、H26年4月～H28年12月は34施設、H29年1月以降は35施設対比)



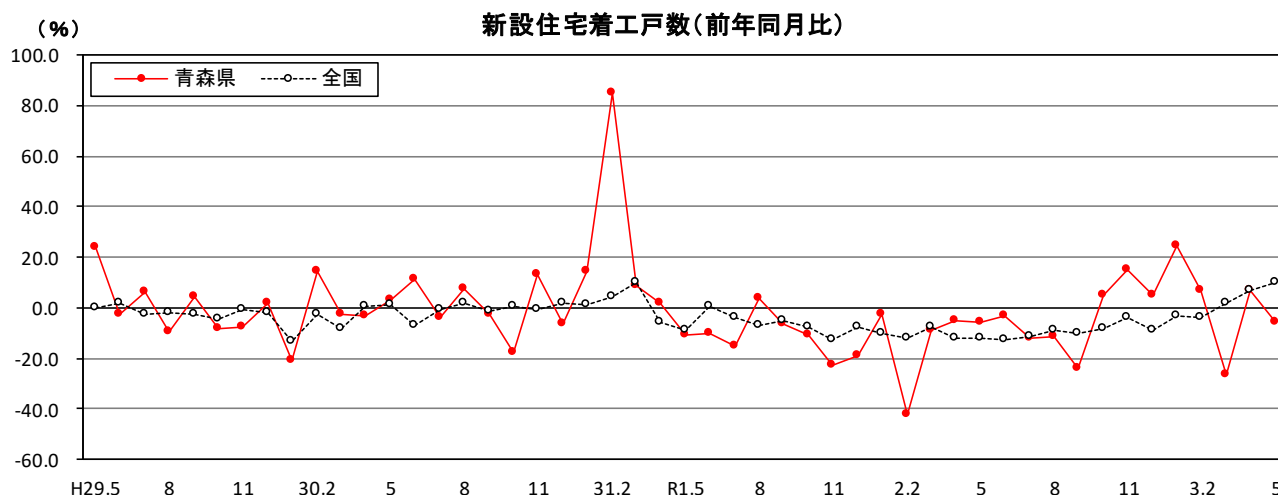
資料: 県観光企画課「月例観光統計」

※宿泊施設 全県75施設(H30年6月まで79施設、H30年7月は78施設、H30年8月～R1年5月は79施設、R1年6月～7月は80施設、R1年9月～R2年3月は78施設、R2年4月～5月は77施設、R2年6月～10月は76施設、R2年11月からは75施設対比)

(2-5) 建設

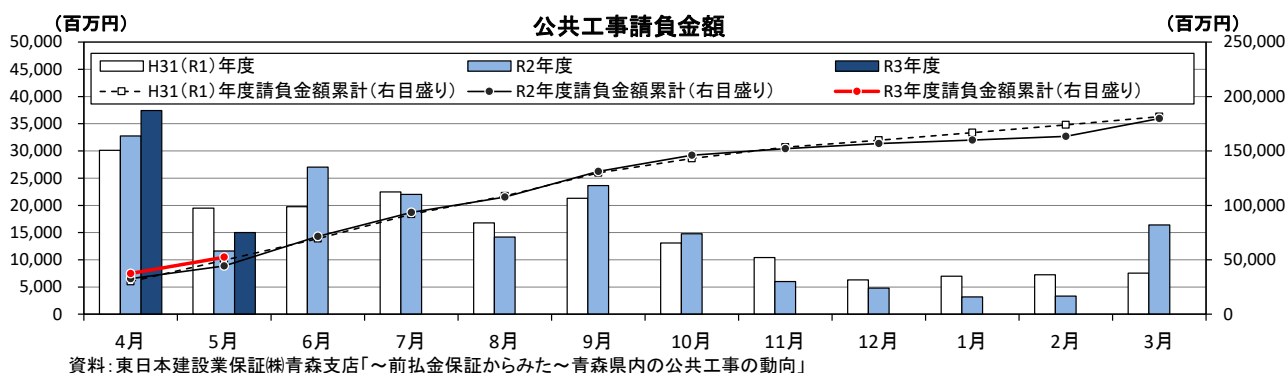
(2-5-1) 住宅建設

令和3年5月の新設住宅着工戸数は456戸で、前年同月比5.8%減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。主に貸家、分譲住宅が減少したことによる。



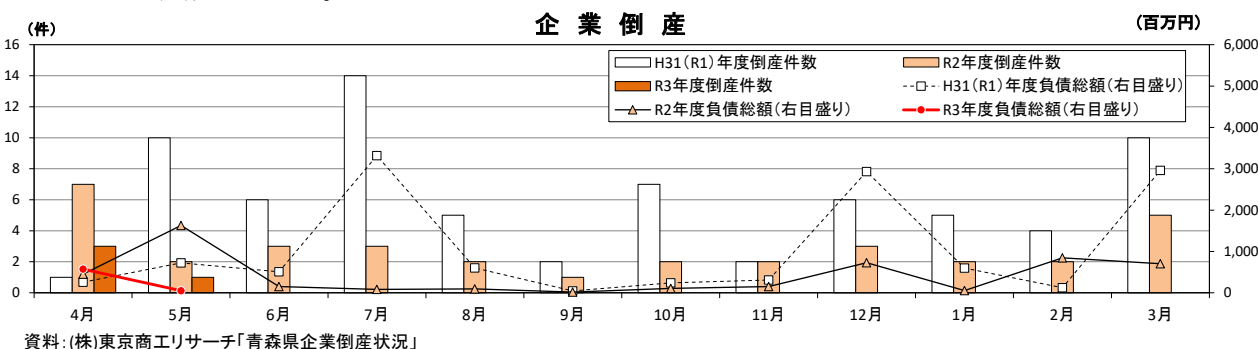
(2-5-2) 公共事業

令和3年5月の公共工事請負金額は150億2,100万円の前年同月比29.1%増となり、独立行政法人等や県の発注工事が増加したことにより3カ月連続で前年同月を上回った。また、令和3年5月までの累計金額は524億2,900万円の前年同月比18.2%増となった。



(2-6) 企業倒産

令和3年5月の企業倒産は、件数は1件で前年同月比50.0%減となった。負債総額は5,000万円の前年同月比96.9%減となった。



(3) 青森県景気動向指数

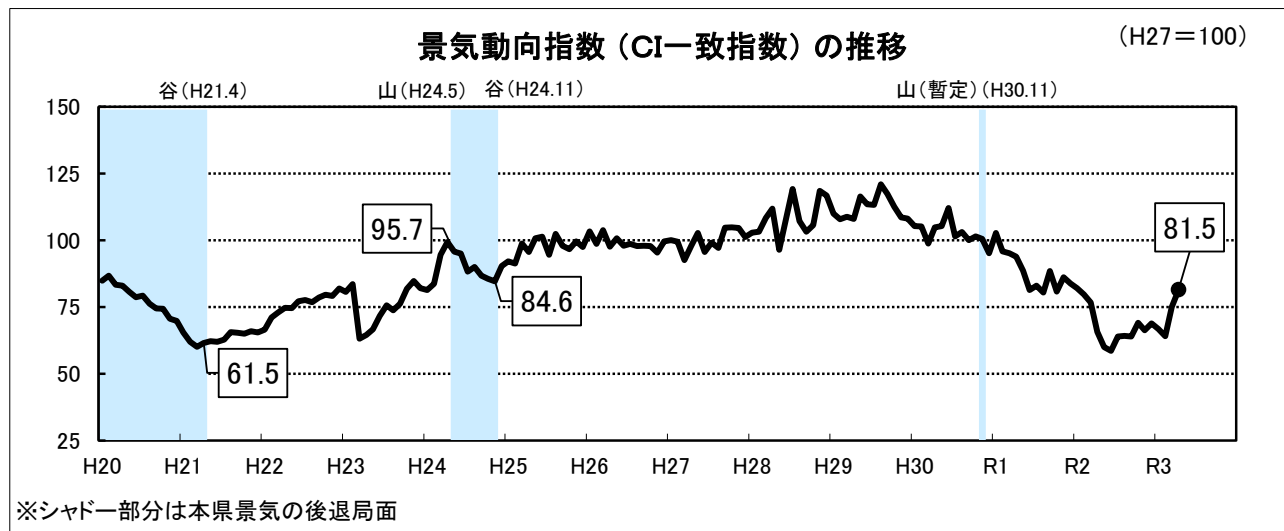
令和3年4月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 135.8、一致指数 81.5、遅行指数 89.6 となった。

先行指数は、前月を 5.1 ポイント上回り、3 カ月連続で上昇した。

一致指数は、前月を 6.4 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した。

遅行指数は、前月を 13.1 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した。

4 月の一致指数は、生産関連の 2 指標以外がプラスになったことから上昇した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

●個別米価の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前分と比較してまいります）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
乗用車新車登録届出台数	7.07	2カ月連続	新規求人倍率（全数）	-6.49	3カ月ぶり
日経商品指数（42種）	6.10	7カ月連続	中小企業景況DI	-2.86	3カ月ぶり
新設住宅着工床面積	2.51	3カ月ぶり	建築着工床面積	-2.03	2カ月連続
生産財生産指数	0.45	2ヶ月連続			
企業倒産件数（逆サイクル）	0.39	2カ月ぶり			
一致系列					
旅行取扱高	3.78	2カ月連続	投資財生産指数	-1.52	3カ月ぶり
有効求人倍率（全数）	2.19	2カ月連続	鉱工業生産指数	-1.19	2カ月ぶり
百貨店・スーパー販売額（既存店）	1.13	2カ月連続			
輸入通関実績（八戸港）	1.11	2カ月ぶり			
所定外労働時間指数（全産業）	0.87	2カ月連続			
遅行系列					
			青森市消費者物価指数（総合）	-4.85	4カ月ぶり
			公共工事請負金額	-2.94	3カ月ぶり
			家計消費支出（勤労者世帯：実質）	-2.46	2カ月ぶり
			りんご消費地市場価格	-2.24	4カ月連続
			県内金融機関貸出残高	-0.42	3カ月ぶり
			常用雇用指数（全産業）	-0.17	3カ月連続
			有効求職者数（全数）（逆サイクル）	-0.01	2カ月ぶり

（参考）青森県景気動向指数（D I）

先行指数 75.0% （9 カ月連続で50%を上回った）
 一致指数 85.7% （8 カ月連続で50%を上回った）
 遅行指数 57.1% （6 カ月ぶりに50%を上回った）